

国際学会報告 ORS、AAOS 学術集会に参加して

整形外科学教室 大学院4年 飛田 高志（平成19年入局）

2014年3月11日から18日までアメリカのNew OrleansにてAmerican Academy of Orthopaedic Surgeons (AAOS) とOrthopaedic Research Society (ORS) の学術集会が開催され、足の外科の安田先生、常德先生、嶋先生と参加してきました。

海外学会へは今回が初めての参加でした。英語に対して苦手意識があり、ORSの演題登録のホームページの説明文を読むところから、常德先生に助けられました。抄録についても、忙しい中、安田先生をはじめ足の外科の先生方には何度も修正していただきました。飛行機や宿も全て常德先生が手配して下さり、大変お世話になりました。演題採用の通知が来る以前に、キャンセルの利かない航空券を手配していただいていたため、採用されて嬉しかったと同時に、ほっとしました。

AAOSでは発表会場はどれも広く、また、展示



図1. AAOS 会場の入り口

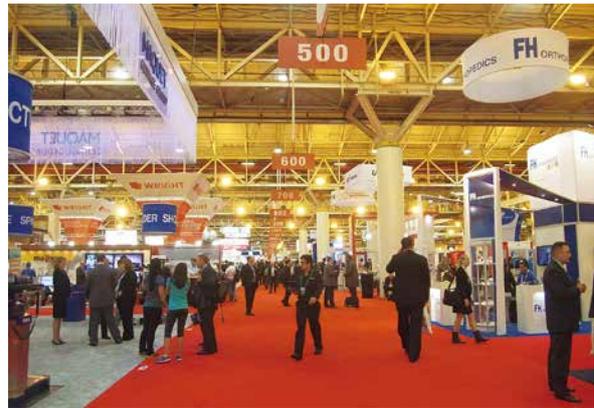


図2. AAOS 展示会場

場は2階建てのブースもあり、日本との規模の違いに驚きました。安田先生の発表を拝聴しましたが、私には質疑応答での討論をほとんど理解できず、英語のヒアリングも含めて勉強が必要と再認識しました。

ORSではポスター発表を行いました。行きの飛行機で、ロストバグゲージについて何も考えずに、ポスターをスーツケースの中に入れて預けてしまっていたのですが、預けた荷物は無事に受け取ることができて、ポスター展示を行うことができました。

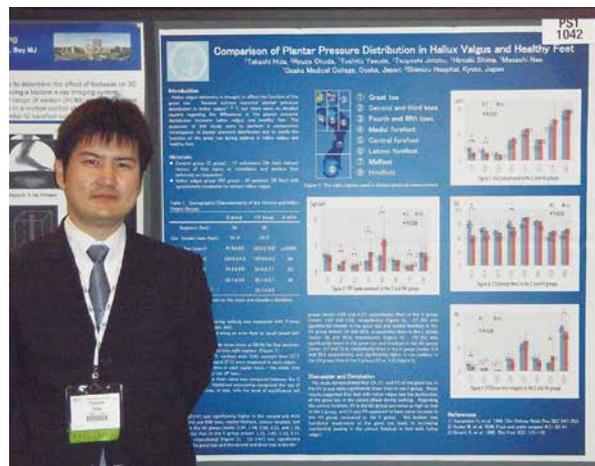


図3. ORS ポスターの前で撮影

運が良かっただけですので、今後は気をつけたいと思います。ポスター会場では、日本人の参加者も多かったことが驚きでした。質疑応答の時間には、日本人の他にも、数名の先生方から英語での質問をうけました。私の片言の英語での返答は不十分だったと思いますが、様々な意見をいただき、研究内容についても、私の経験の面についても有意義な時間となりました。

学会参加以外のことを少しお伝えします。Café Du MondeのNew Orleans本店に行ってきました。ベニエという、砂糖を大量につけて食べるドーナツ様のものですが、見た目ほどしつこい甘さではなく、とても美味しかったです。私は日本にも支店があるのを知らず、Café Du Mondeのコーヒー豆の缶詰



図4. Café Du Mondeのベニエ

を大量に買って帰ったのですが、日本でも購入できるようで、ただただ重たかっただけでした。プランテーションツアーでは、予想された通り、ガイドの方の英語の説明はほとんどわかりませんでした。土地の広さ、規模の大きさに圧倒され、また、NBAの試合も観戦し、本場の選手の迫力あるプレーに感動しました。

今回、初めての海外学会で、どれも新鮮で、有意義な時間を過ごせました。先生方には御指導いただき、深く感謝しております。これからも、ポスター発表や口演での発表ができるように、精進していきたいと思います。御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



図5. プランテーションツアーで領主の館から撮影